



平成27年7月14日

各位

会社名 Oak キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康
(コード番号3113 東証第二部)
問合せ先 取締役管理本部長兼経理財務部長 秋田 勉
(TEL. 03-5412-7474)

平成28年3月期第1四半期業績の見通しについて

平成28年3月期第1四半期（平成27年4月1日～平成27年6月30日）の業績は、前年同期に比べ大幅な増収増益となる見通しであります。

記

1. 業績の概要

平成28年3月期第1四半期の業績は、営業収益（売上高）は2,100百万円（前期比165.4%増）、営業利益900百万円（同1,111.2%増）経常利益は900百万円（同1,102.4%増）、四半期純利益は800百万円（同823.7%増）と、前年同期に比べ大幅な増収増益となる見通しであります。

今期において当社の投資銀行業務のエクイティファイナンスの引受けは、前期2倍の総額160億円の計画で進めておりますが、当期間において、新興市場の企業向けエクイティファイナンスの引受け額を拡大し、成長支援や事業再生の支援を展開しました。その結果、投資回収によるキャピタルゲインは前期に比べ大幅に増加いたしました。

今後も企業の事業投資は積極的であり資金調達需要は増える見込まれます。当社は引き続き、新興市場並びに低位にいる中小型株市場の企業に向け成長支援となるファイナンスの引受けと成長シナリオの創出ならびに後押しを実施してまいります。

2. 今後の見通しに関して

大企業の業績好調に伴い新興市場の企業もその好影響が出始めています。当社は上場企業向けの資本政策と成長戦略を担う投資銀行として、投資先企業の企業価値向上ならびに支援業務の重要性が増してくるものと思われま

す。また、当社の通期業績におきましても3期連続の増収増益を目指し、当社の株主価値向上及び株主還元の実現に取り組んでまいります。

3. 平成28年3月期第1四半期業績の見通し（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
平成28年3月期第1四半期 (見通し) (A)	百万円 2,100	百万円 900	百万円 900	百万円 800	円 銭 16.33
平成27年3月期第1四半期 (実績値) (B)	791	74	74	86	1.87
増減額 (A-B)	1,309	826	826	714	—
増減率 (%)	165.4	1,111.2	1,102.4	823.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	8,315	2,122	1,862	1,809	38.20

(注) 当社は、事業の特性上、株式市場の変動要因による影響が極めて大きく、合理的な業績予想の算定が困難であることから、業績予想の開示は行っておりません。そのため、四半期決算の迅速な開示に努め、合理的な予想が可能な段階で速やかに業績見通しの開示を行う方針としております。

以上